

令和2年度小磯記念美術館事業点検評価の外部評価

【総括】

令和3年度の小磯記念美術館協議会で実施した令和2年度の小磯記念美術館事業点検評価において、6つの事業項目のうちA評価は3つ（「報告」「普及」「連携」）、B評価は3つ（「資料」「調査研究」「運営」）となった。

自己点検評価でトータル評価としては、事業項目6つのうち「報告」「普及」「連携」の3つがA、「資料」「調査研究」「運営」の3つがBとなり、外部評価と同様の結果であった。

※評価はS・A・B・C・Dの5評価

【外部評価委員からの総評】

小磯記念美術館は特別展2回を含む年間4回の展覧会を少人数で計画・立案から自主企画で開催し、大変な努力をして美術館を運営している。

令和2年度はコロナ禍の中で年度当初は休館から始まり、その後5月19日から再開後は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで予定通り展覧会を開催し、開館をしてきた努力は評価できる。入館者数は美術館の事業評価の一つのバロメーターではあるが令和2年度は、イベントの中止や世間の外出自粛などの影響により、残念ながら入館者数は伸びなかったが必ずしも評価を下げる要因とまでは言えない。

緊急事態宣言中はフェイスブックを頻繁に更新しギャラリーツアーの動画を配信するなど努力が伺える。また、宣言の緩和時には子供向け事業など人数を制限し、3密回避のための工夫も講じながら実施してきた。

個人記念美術館であるが故の制約もあろうが、その役割、地域への貢献など、これからも美術館のあり方を引き続き考えてもらいながら、努力を積み重ねていてもらいたい。

小磯記念美術館外部評価集計表 【令和2年度】

美術館の事業方針	事業項目	点検評価項目 (小項目)		外部評価 事業項目評価	
		(判定概要)			
神戸市小磯記念美術館 条例第3条	資料	収集	受け入れ	B	
		保管	保存 資料 補修		
		展示	常設展 特別展【わが青春の上社会展】 特別展【大野コレクション展】		
	調査研究	研究発表	学芸員による調査研究		B
	報告	頒布・広報・報告	出版物 情報発信 SNS等 広報		A
	普及	講演・ワークショップ	講演など 普及活動		A
	連携	画像利用・貸出	館外貸出	特別利用	A
学校園			学校 連携 子供向け		
地域		地域			
美術館の経営方針	運営項目	点検評価項目 (小項目)		外部評価 事業項目評価	
(判定概要)					
館の運営に関する管理 事項	運営	統計・整理	入館者数 セット券 コンサート	B	
		収支状況	収支(特別展) 収支(物販)		
		施設運営管理	設備 警備、清掃 案内 危機		